

令和 7 年 3 月 25 日  
総 務 省  
(一財) 自治体国際化協会

第 19 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）は、日本と海外の自治体の姉妹都市交流をはじめとした交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的としています。

このたび、次のとおり受賞団体が決定しましたので、お知らせします。なお、表彰式は後日開催予定です。

受賞団体

- 三芳町（埼玉県）
- 公益財団法人 長岡市国際交流協会（新潟県）
- 北九州市（福岡県）

（添付資料）

- ・（資料 1）第 19 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）受賞団体の概要（1～3 頁）
- ・（資料 2）自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要（4、5 頁）

（連絡先）

総務省自治行政局国際室 田頭<sup>たがしら</sup>参事官補佐、栗田<sup>くわた</sup>主査、倉鹿野<sup>くらがの</sup>

電 話：03-5253-5527（直通）

E-mail：kokusai(at)soumu.go.jp

(一財)自治体国際化協会交流親善課 松田課長、坂倉

電 話：03-5213-1723（直通）

E-mail：shimai(at)clair.or.jp

※迷惑メール対策のため、「@」を「(at)」と表示しております。  
送信の際には、「@」に変更してください。

## 三芳町(埼玉県)

交流先：マレーシア セランゴール州 ペタリングジャヤ市、マレーシアデフスポーツ協会

- 1989年に地元の東入間青年会議所とペタリングジャヤ市の青年会議所が姉妹協定を締結したことを契機に交流を開始し、2017年に三芳町とペタリングジャヤ市で姉妹都市協定が締結された。
- 文化、芸術、教育、都市農業、建設、安全、衛生、その他の分野における姉妹都市交流を継続的に促進してきた。特に町内中学生のペタリングジャヤ市派遣事業やペタリングジャヤ市で開催され、参加国がそれぞれの国の伝統芸能等を披露する「国際フォークロアフェスティバル」への参加、ペタリングジャヤ市在住のろう者アーティストの作品視察及び三芳町への招待など、相互の交流が進められている。
- また、マレーシアのパラリンピック委員会と「東京2020パラ大会の事前キャンプ及び事後交流の協定」を締結し、マレーシアの共生社会ホストタウンとして登録された。これを契機に、マレーシアデフスポーツ協会との面会が実現し、東京2025デフリンピック大会に向けた事前キャンプの実施及び交流の計画について協議し協定の締結に至った。
- 三芳町では、2021年からペタリングジャヤ市出身者を会計年度任用職員として採用し、マレーシアの魅力発信やホストタウンに関する様々な事業をサポートし、日本とマレーシアの架け橋となっている。
- その他にも、ペタリングジャヤ市や在マレーシア日本国大使館からの依頼によりセランゴール州自治体訪問団やマレーシア財務省の視察も受け入れ、姉妹都市以外の自治体との交流も活発になっている。



2017年12月19日姉妹都市提携調印式



国際フォークロア・フェスティバルの様子



マレーシアデフスポーツ協会来町時の様子

# 第19回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について

## 公益財団法人 長岡市国際交流協会（新潟県）

交流先：アメリカ合衆国 フォートワース姉妹都市協会／ドイツ連邦共和国 トリアー独日協会／  
アメリカ合衆国 ハワイ日米協会、ハワイグローバル教育財団、ホノルルフェスティバル財団

### ○フォートワース市（アメリカ合衆国テキサス州）

- ・長岡市市制施行80周年の記念事業の1つとしてアメリカ合衆国の都市との姉妹都市締結が採り上げられ、いち早く長岡市との姉妹都市交流に関心を示したフォートワース市と1987年に姉妹都市を締結した。
- ・現在も例年事業として継続している「原信サマースカラシップ」や「フォートワース中学・高校生グループ受入」などの青少年教育交流をはじめ、スポーツ・文化交流など、長年にわたり幅広い分野での交流を展開している。

### ○ホノルル市（アメリカ合衆国ハワイ州）

- ・ホノルル市で開催された日米市長交流会議において、日米開戦の契機となった真珠湾攻撃の指揮をした山本五十六が長岡出身であり、本来開戦に反対したものの政府の決定により従わざるを得なかったことを説明したことが、両市が平和交流を始めきっかけとなった。その後、市民交流や青少年交流を重ね、2012年に姉妹都市を締結した。
- ・世界平和をテーマに青少年交流や市民訪問団の訪問などを通じて相互理解を深め、日米友好関係の推進への貢献を図る。

### ○トリアー市（ドイツ連邦共和国ラインラントプファルツ州）

- ・トリアー市と姉妹都市締結をしていたフォートワース市を通じ、トリアー市と長岡市が友好関係を築くこととなり、姉妹都市締結までは至らなかったものの、1995年、友好都市として交流することについて合意書を交わした。以来、スポーツ交流などを重ね、市制100周年にあたる2006年に姉妹都市を締結した。
- ・長岡市の高校生による「青少年国際スポーツキャンプ」への参加や、トリアー市からの青少年グループ受入や市民訪問団の受入を通じた交流を続けている。



原信サマースカラシップ（フォートワース市）



青少年交流（ホノルル市）



青少年国際スポーツキャンプ（トリアー市）

# 第19回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について

## 北九州市(福岡県)

交流先：ベトナム社会主義共和国 ハイフォン水道公社、ハイフォン下水道排水公社

- 2009年からの経済・文化など市民レベルでの交流、国際技術協力の推進などの取組を経て、2014年に姉妹都市協定が締結された。現在10の上下水道に関する協定及び覚書を交わし交流を続けている。
- 2024年5月にはハイフォン市に整備され現在稼働中の「北九州市が独自に研究開発した高度浄水処理である上向流式生物接触ろ過設備(通称U-BCF: Upward Biological Contact Filtration)」について、運転技術習得に向けた技術協力に関する新たな覚書を締結した。
- 下水道の分野では、下水処理場の運転管理マニュアルの作成や、ハイフォン市民と共同で浸水対策訓練を行うなど交流を行った。
- こうした活動について、テレビ番組で放送されるなど、現地でも注目されており、またYouTube・SNSの活用、ホームページ掲載によるオンライン媒体での広報活動を展開している。
- 外務省及び学校と共に実施する出前講演や、修学旅行の海外事業に関する学習支援、学校が実施する海外学習への協力など、国や関係機関と連携しながら、国際協力への理解を深める活動を行い、地域社会へ貢献している。



U-BCF技術協力に係る覚書締結の様子



北九州市職員の現地派遣の様子



現地での技術指導の様子

## 自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要

## 1 趣旨

日本の自治体と海外の自治体の交流活動（以下「自治体国際交流」という。）のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することにより、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的として実施。

## 2 主催

総務省及び一般財団法人自治体国際化協会

## 3 表彰対象団体

自治体国際交流を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

## 4 表彰団体数

3 団体以内

## 5 審査基準

- (1) 先進性 他の模範となる先進的な取組 等
- (2) 独自性 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等
- (3) 継続性 活動の継続、効果や実績の定着、（実績は少なくとも）今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等
- (4) 活発性 活動内容の充実の度合い、頻度、広がり 等
- (5) 協働性・連携性 住民や企業との協働、連携 等
- (6) 効果 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等

## 【審査委員】

審査委員会の審査を経て、総務省と一般財団法人自治体国際化協会が決定する。

## ○第 19 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 審査委員会委員

- ・ 縣 公一郎 早稲田大学政治経済学術院 教授
- ・ 久邇 良子 東京学芸大学教育学部 教授
- ・ 荒見 玲子 名古屋大学大学院法学研究科 綜合法政選考基幹法・政治学 教授
- ・ 土山 希美枝 法政大学法学部 教授
- ・ 水田 秀子 公益財団法人 かながわ国際交流財団 前専務理事
- ・ 柴垣 禎 特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会 理事
- ・ ニーナ・ハッカライネン 外国人女性の会 パルヨン 代表理事
- ・ 荻澤 滋 公益財団法人 全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 学長
- ・ 黒田 夏子 総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長
- ・ 小池 潔 一般財団法人 自治体国際化協会 理事

# 第19回自治体国際交流表彰について

日本の自治体等で実施されている外国の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ優良事例の取組を行っている自治体等を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図るとともに、地域の国際化に資することを目的として、平成18年度から実施している。(第1回から第18回までの間で、52自治体等が受賞している。)

## 受賞団体

- ・三芳町(埼玉県)  
マレーシア セランゴール州 ペタリングジャヤ市との交流の取組
- ・公益財団法人 長岡市国際交流協会(新潟県)  
アメリカ合衆国テキサス州フォートワース市、ハワイ州ホノルル市、ドイツ連邦共和国ラインラントプファルツ州トリアー市との交流の取組
- ・北九州市(福岡県)  
ベトナム ハイフォン市との交流の取組

## 最近の受賞団体

- 第18回(R6年5月)
  - ・公益財団法人 兵庫丹波の森協会(兵庫県)
  - ・和歌山県
  - ・美郷町(島根県)
- 第17回(R5年5月)
  - ・旭川・ブルーミントン・ノーマル姉妹都市委員会(北海道)
  - ・川越市、川越市姉妹都市交流委員会(埼玉県)
  - ・大阪市(大阪府)
- 第16回(R4年5月)※報道発表のみ
  - ・公益財団法人 加古川市国際交流協会(加古川市(兵庫県))
  - ・認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会(岡山市(岡山県))
  - ・沖縄県



第18回 自治体国際交流表彰(R6.5月)の式典

## 第19回 自治体国際交流表彰 審査委員会

- 縣 公一郎 (早稲田大学政治経済学術院 教授) 【委員長】
- 久邇 良子 (東京学芸大学教育学部 教授)
- 荒見 玲子 (名古屋大学大学院法学研究科 総合法政選考  
基幹法・政治学 教授)
- 土山 希美枝 (法政大学法学部 教授)
- 水田 秀子 ((公財)かながわ国際交流財団 前専務理事)
- 柴垣 禎 ((特活)多文化共生マネージャー全国協議会理事)
- ニーナ・ハッカライネン (外国人女性の会 パルヨン 代表理事)
- 荻澤 滋 ((公財)全国市町村研修財団全国市町村国際文化  
研修所 学長)
- 小池 潔 ((一財)自治体国際化協会 理事)
- 黒田 夏子 (総務省自治行政局国際室 参事官 兼 国際室長)